

平成 30 年 7 月 17 日

NHK連続テレビ小説「半分、青い。」の放映に伴う岐阜県経済への波及効果

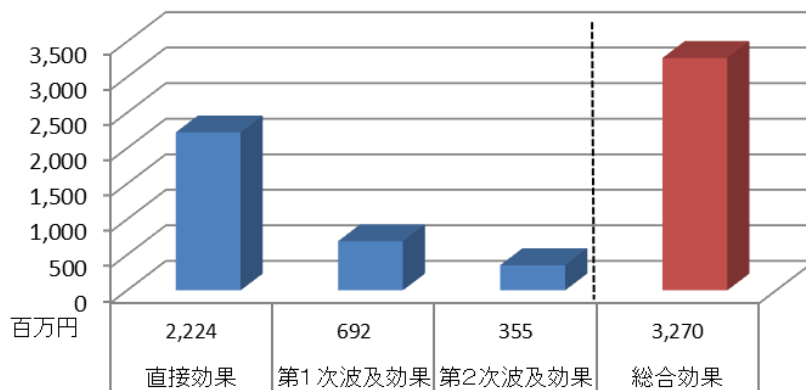
ツーリズム東美濃協議会
とうしん地域活力研究所

- ・岐阜県東美濃地域を舞台とした、NHK連続テレビ小説「半分、青い。」（以下、「半分、青い。」という。）の放映が平成 30 年 4 月に始まり、視聴率も好調に推移している。
- ・東美濃市は実在しない架空の市であるものの、「半分、青い。」の放映に伴い、東美濃地域では様々な経済効果が生まれており、岐阜県経済への波及効果が期待されている。
- ・そこで、ツーリズム東美濃協議会¹・とうしん地域活力研究所は、「半分、青い。」の放映に伴う岐阜県経済への波及効果を試算した。

1. 岐阜県経済への波及効果

- ・「半分、青い。」の放映に伴い、観光入込客増加は約 477 千人、観光消費増加額は約 2,473 百万円となり、岐阜県経済への波及効果(総合効果)は約 3,270 百万円と試算した。

(今回は、一定の仮定値を設定して試算したものであり、相応の幅を持つてみる必要がある。)



※直接効果：「半分、青い。」放映による観光入込客増加に伴う観光消費増加額の内、岐阜県内各産業部門で誘発された生産額

※第 1 次波及効果：直接効果が生じる原材料等の中間需要によって起こる波及効果

※第 2 次波及効果：直接効果および第 1 次波及効果によって増加した賃金・俸給が家計消費に回すことによって誘発された生産額

※総合効果：直接効果、第 1 次波及効果、第 2 次波及効果の合計

¹ 東美濃 6 市の商工会議所（多治見、中津川、土岐、瑞浪、恵那、可児）、中部経済連合会、十六銀行、東濃信用金庫で構成し、民間の力を活用した独自の発想で「まちづくり」、「産業振興」、「観光振興」を軸に事業を実施している。